

武士の政治が始まる① (教科書 110~118 ページ) 解答

氏名 ()

- 1 武士の暮らしはどのようなものだったのでしょうか。教科書 110~111 ページアの絵を見て、貴族の暮らしとも比べながら考えましょう。

- ・ 貴族のはなやかな暮らしとちがって、武士は領地を守るために、馬を飼い、武芸にはげんだ。
- ・ 地方に住む武士は、自分の領地で作られた米などを年貢として納めさせた。

など

- 2 武士はどのようにして、力をのばしていったのでしょうか。

- ① 平清盛を中心とする平氏一族は、どのようにして力をのばしましたか。

朝廷の重要な地位をおさえた。むすめを天皇のきさきにして、政治に大きな影響力をもつようになった。

- ② 源氏と平氏との間に起こった戦いはどのようにになりましたか。

源頼朝は、関東の有力な武士たちを味方につけて戦いを始め、源義経などの活躍により、壇ノ浦で平氏をほろぼした。

- 3 みなものよりとも 源頼朝はどのような政治を行ったのでしょうか。

- ① 頼朝はどのような政治の体制をつくりましたか。

政治の体制	有力な御家人を守護や地頭に任命して全国各地に置いた。
政治の中心	鎌倉を政治の中心として、鎌倉幕府を開いた。

- ② 頼朝は御家人との間に、どのような関係を築きましたか。

幕府があたえたもの	御家人に領地の支配を認めたり、手柄を立てた者には新しい領地をあたえたりした。
御家人のつとめ	戦いときには「いざ鎌倉」とかけつけ、將軍のために命がけで戦った。また、都や鎌倉を警護した。

- ③ 土地を仲立ちとした、幕府と御家人の関係はどのようによばれていますか。

ご恩と奉公

武士の政治が始まる② (教科書 110~118 ページ) 解答

氏名 ()

1 元との戦いは、どのようなものだったでしょうか。

① どうして日本は元と戦うことになったのでしょうか。

元が日本を従えようとして何度か使者を送ったが、幕府がこぼんだから。

② 日本と元との戦いはどうなったでしょうか。

元は2度にわたって九州北部をせめてきた。幕府は、御家人たちを九州に集めて戦った。新兵器を使った元軍の集団戦法に、幕府の御家人たちは苦戦したが、激しく戦い、元軍は暴風雨にあうなど、2度とも大きな損害を受けて引き上げた。

③ 元との戦いのあと、幕府と御家人の関係はどうなったでしょうか。

御家人は多くの費用を使い、命がけで戦ったが、幕府からほうびの土地がもらえなかったため、不満をもつようになった。幕府と御家人の関係がくずれ、幕府の力がおとろえていった。

2 武士の時代が始まって、政治はどのように変わったでしょうか。自分の考えを書きましょう。

(例) 政治の中心地が鎌倉となり、将軍と御家人は土地を仲立ちとした「ご恩と奉公」の関係で結ばれていた。武士の法律や制度が整えられ、幕府の力が朝廷をしのぐようになっていった。

3 鎌倉時代はどのような時代でしたか。文末が「時代」で終わるようにまとめましょう。そして、そのように考えた理由を、「武士」「幕府」「御家人」「元」などの言葉を使いながら書きましょう。

(例) 武士が政治の中心になって戦った

時代

【理由】

この上に書いたまとめと、ここに書いた理由が合うように考えて書きましょう。

(例) 武士が中心となった鎌倉幕府が開かれて政治が行われるようになった時代で、「ご恩と奉公」の関係で結ばれた幕府と御家人が、朝廷と戦って勝ったり、元と戦って引き上げさせたりするなどの戦いも起きた時代だから。